

## 経営課題ごとの取組（素案）



## 経営課題1「人と人がつながるまちづくり」に関する取組

取組の方向性 〔「福島区将来ビジョン」より〕	・豊かな地域コミュニティの実現と持続に向けた支援			
令和8年度の取組概要	<p>・豊かなつながりときずなを活かした隣近所における助け合い、支え合いのための地域活動が活発かつ安定的に行えるよう、地域活動協議会（以下「地活協」という）の活動費及び運営費の一部に補助金を交付し、おおむね小学校区を単位としたコミュニティの自律的な取組に対し支援を行う。</p> <p>・地域活動の担い手の負担軽減や地活協の組織運営について、中間支援組織（まちづくりセンター）を通じた支援を行う。</p> <p>・デジタルツールによって、若い世代の関心が高い取組や地域の魅力ある行事を効果的に情報発信するとともに、若い世代が活動する地域団体等との連携や協働を進めるため、主に地域の担い手を対象とした、デジタルスキル向上研修等を地域の実情やニーズに合わせて実施する。</p>			
令和8年度の主な取組	取組内容	6 決算見込額	7 予算額	8 算定見込額
	地活協への活動費及び運営費補助	19,831 千円	19,831 千円	19,831 千円
	地域コミュニティ支援事業	16,451 千円	16,584 千円	16,450 千円
	合計	36,282 千円	36,415 千円	36,281 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				

# 経営課題ごとの取組（素案）



## 経営課題2「安全・安心なまちづくり」に関する取組

取組の方向性 （「福島区将来ビジョン」より）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自助」「共助」の防災意識を持った災害に強いまちづくり</li> <li>・災害時等における要支援者への支援</li> <li>・犯罪が起これにくい地域を作るため、地域や警察等と連携</li> <li>・放置自転車をはじめとした自転車マナー等に対する市民協働型の啓発</li> </ul>			
令和8年度の取組概要	<p>災害時に自主防災組織が主体となって初期対応を行い、住民が安全に避難できる体制を確立するため、地域で継続的に防災訓練等を実施できるよう支援するとともに、各種啓発活動（防災ノートを活用した小中学校での防災授業・中学生体験学習事業・出前講座等）に加えて、マンション住民向けの防災講演会等を開催し、「在宅避難」の有効性や事前の備え、マンション固有の防災対策の普及啓発、地域とのつながりの大切さを伝え、「自助」「共助」の防災意識の向上に取り組む。また引き続き、避難に際して支援を要する方の事前の備えとして、個別避難計画の作成を支援する。</p> <p>防犯カメラの設置など、地域・警察・区役所等が連携し、防犯意識の向上と街頭犯罪の減少・抑止をめざして各種事業に取り組む。</p> <p>地域や警察等の関係機関と協働して、区民に対して、交通安全意識の向上をはじめ、放置自転車対策を目的としたキャンペーンの実施などにより、自転車マナー啓発や自転車等放置禁止区域の周知に取り組む。</p>			
令和8年度の主な取組	取組内容	6 決算見込額	7 予算額	8 算定見込額
	避難所開設訓練等への支援	63 千円	242 千円	389 千円
	小・中学生の防災意識の向上	62 千円	24 千円	184 千円
	マンション防災対策支援事業	105 千円	3 千円	601 千円
	中学生体験学習事業	2,383 千円	2,713 千円	2,874 千円
	防犯カメラの設置、防犯啓発による安全なまちづくり	1,738 千円	2,050 千円	2,050 千円
	市民協働型放置自転車対策	6,503 千円	8,814 千円	7,473 千円
	合計	10,854 千円	13,846 千円	13,571 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				



### 経営課題3「次世代を元気に育むまちづくり」に関する取組

取組の方向性 （「福島区将来ビジョン」より）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妊娠期からの切れ目のない子育て支援</li> <li>・ 幼児教育・保育環境の充実</li> <li>・ 小・中学生の学力・体力向上</li> <li>・ 不登校児童生徒への支援</li> <li>・ 小学校の良好な教育環境づくり</li> </ul>			
令和8年度の取組概要	<p>出産・子育てで感じる孤立感や不安感、疲労感等を軽減するため、「赤ちゃん広場」や「美ママ講座」など各種事業を実施するとともに、「授乳に関する助産師の専門相談」「ペアレントトレーニング事業」など保護者の養育力向上を支援する事業に取り組む。</p> <p>利用者支援専門員による保育施設や幼稚園などの情報提供や利用相談により保護者の働き方を支援する。また、2028（令和10）年4月に予定している海老江西幼稚園休園後に、西野田幼稚園・貫江田幼稚園が引き継ぐ機能や役割について、地域・保護者の意見を踏まえながら関係部署に働きかけ、幼児教育の充実に向けて取り組む。</p> <p>小・中学校の児童生徒に対しては、トップアスリートによる「ゲストティーチャー派遣事業」による体力向上や、民間事業者を活用した学習支援による学力向上・キャリア教育の推進、有償ボランティアによる不登校支援など、学校と連携しながら、それぞれの学校教育の現場ニーズに応じた取組を行う。</p> <p>学びを支える良好な教育環境を確保するため、児童数の減少や急増などの推移を注視しながら、通学区域の変更や学校選択制における受入抑制の手法により学校規模の適正化を図る。また、熱中症リスクへの予防対策を講じることにより学習環境を整える。</p>			
令和8年度の主な取組	取組内容	6 決算見込額	7 予算額	8 算定見込額
	育児不安軽減に向けた子育て支援事業	1,350 千円	1,653 千円	1,666 千円
	赤ちゃん広場・発達障がい児の親のための相談事業	485 千円	1,000 千円	1,000 千円
	ペアレントトレーニング事業	5,469 千円	6,222 千円	6,355 千円
	公立の幼稚園に対するボランティアの配置	— 千円	630 千円	666 千円
	小・中学生の基礎学力・体力向上事業	228 千円	567 千円	768 千円
	不登校児童生徒支援事業（ボランティアの配置）	— 千円	4,972 千円	5,064 千円
	小学校熱中症対策事業	— 千円	— 千円	5,346 千円
	合計	7,532 千円	15,044 千円	20,865 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				

# 経営課題ごとの取組（素案）



## 経営課題4「いきいきと健康に暮らせるまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「多様化する福祉ニーズ」を受け止め、適切に対応できる体制づくり</li> <li>・住民同士がお互い気につなげ、つながり、支え合うことができる地域づくり</li> <li>・介護予防の更なる推進</li> <li>・「健康寿命」の延伸をめざした取組の推進</li> </ul>			
令和8年度の取組概要	<p>複雑化・複合化する福祉ニーズに対応するため、「福島区地域保健福祉ビジョン」に基づき、地域包括支援センターや障がい者基幹相談支援センターなどの相談支援機関と連携を進め、多様化する個々の福祉課題の解決に取組み、区民に対して福祉に関する相談先の認知度の向上を図るとともに、住民同士の見守りなど地域福祉活動を支援し、お互いに気につなげ、つながり支え合う地域づくりに向けた取組を進めていく。</p> <p>様々な主体との連携・協働を図りながら、おおさか健活マイレージ「アスマイル」の活用を推進するなど、区民の介護予防に関する意識の向上を図り、活動の実践につなげる。</p> <p>誰もがいきいきと毎日を暮らせるとともに、日頃から健康への関心を高めてもらえるよう、生活習慣病予防の啓発等に取り組むとともにがん検診等の受診率向上に努める。</p>			
令和8年度の主な取組	取組内容	6 決算見込額	7 予算額	8 算定見込額
	「みんなの相談室」・「福島お助けネットワーク」事業	16,015 千円	17,533 千円	18,260 千円
	地域福祉に関する広報啓発	275 千円	695 千円	336 千円
	健康づくり推進事業	320 千円	371 千円	681 千円
	合計	16,610 千円	18,599 千円	19,277 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				

# 経営課題ごとの取組（素案）



## 経営課題5「地元への愛着を育むまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島区の魅力を発信</li> <li>・愛着をもてるまちをめざし、地域等と連携した事業を展開</li> </ul>			
令和8年度の取組概要	<p>福島区には、多くの名所や旧跡、伝統文化があることから、地域への愛着や誇りを持ってもらうため、広報ふくしまや区ホームページ、福島区等のPR動画やSNSなどを用い、様々な機会において情報発信する。</p> <p>地元で貢献したいという思いを醸成するため、「区民まつり」「のだふじまつり」「ふくしまてんこもり」「ざこばの朝市」等の各種事業を開催する際には、その目的を効果的に伝える工夫を行う。</p> <p>野田阪神駅前広場を訪れる人にとって居心地の良い場所とするため、清掃活動や放置自転車対策とあわせた「ノダヤオン」を開催する。</p> <p>令和9年3月に閉校予定の西野田工科高等学校と協力し、文化祭等で歴史や学習内容等を区民に情報提供する。</p>			
令和8年度の主な取組	取組内容	6 決算見込額	7 予算額	8 算定見込額
	広報・情報発信の充実事業	18,820 千円	24,996 千円	25,035 千円
	区民まつり	5,449 千円	5,449 千円	5,449 千円
	「のだふじ巡り」「のだふじまつり」	1,215 千円	1,558 千円	2,461 千円
	「ふくしまてんこもり」	1,000 千円	850 千円	2,342 千円
	「ざこばの朝市」	— 千円	— 千円	578 千円
	「ノダヤオン」	— 千円	— 千円	153 千円
	西野田工科高等学校との共催事業	— 千円	— 千円	50 千円
	合計	26,484 千円	32,853 千円	36,068 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				